

一般会計予算歳入

予算のあらまし

平成十三年度当初予算が、三月定例会市議会で決まりました。
 予算編成にあたっては、今年度を二十一世紀初頭のまちづくりの指針となる第七次総合計画における新規事業の骨格づくりの年と位置づけ、行政改革の推進と簡素で効率的な行政運営に努めながら、さらなる市の発展と市民福祉の一層の向上

を図ることを基本としています。
 その中でも、鳥取環境大学の円滑な運営や少子・高齢化対策、中心市街地活性化対策、IT革命に対応した情報施策、環境対策などに重点を置いた「新時代への対応と新たなまちの基礎づくり予算」となっています。
 ここでは、その概要についてお知らせします。

()はすべて平成12年度当初予算に対する伸び率です。

平成13年度当初予算

一般会計	581億円	(1.9%減)
特別会計	405億2,885万円	(6.3%増)
企業会計	174億1,933万円	(7.9%減)
総額	1,160億4,818万円	(0.2%減)

市税	207億円 (5.2%)
国・県支出金	82億8,860万円 (3.3%)
地方交付税	75億6,673万円 (2.9%)
市債	55億5,220万円 (28.8%)
その他交付金	30億5,740万円 (0.2%)
分担金・負担金	11億1,173万円 (2.1%)
使用料・手数料	9億6,774万円 (1.7%)
地方特例交付金	7億100万円 (17.3%)
財産収入	2億3,243万円 (335.0%)
その他	99億2,217万円 (1.0%)

市税の内訳

固定資産税	99億5,240万円 (4.8%)
市民税(個人)	59億9,275万円 (0.2%)
市民税(法人)	28億1,179万円 (22.4%)
市たばこ税	11億2,934万円 (3.4%)
都市計画税	5億6,251万円 (4.1%)
軽自動車税	2億2,904万円 (4.1%)
入湯税	1,838万円 (1.2%)
特別土地保有税	379万円 (24.2%)